



当会では国土保全、水環境問題、CO₂削減など環境を守り循環型社会を形成するため、環境省の低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」や「協働の森づくり事業」の実施、「太陽光発電システム」の導入など、地球環境にかかる負担の削減や地球の再生能力の維持を構成する一員として環境保全に取り組んでいます。



■協働の森づくり事業～第13回「梶原交流の森」間伐体験&交流会～活動報告

平成22年度から、高知県、梶原町、梶原町森林組合と「協働の森づくり事業」のパートナーズ協定を結び「森林の再生」と「交流の促進」を柱とした取り組みを行っています。現在の協定森林は梶原町川井地区で61.73haとなっています。

今年も令和5年10月29日(日)に間伐体験を実施しました。当会からは木村理事長をはじめ29名、(株)建設マネジメント四国からは善勝社長をはじめとする45名の職員が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、梶原町森林組合の指導のもと、安全に気持ちよく間伐体験を行うことが出来ました。チェーンソー体験もさせていただき、大変貴重な間伐体験となりました。



▲枝打ち体験



▲親子で初めての間伐体験参加

■林野庁の「グリーンパートナー2023」

当会がCSR行動憲章で取り組んでいる環境保全活動「協働の森事業」などにより、林野庁の「森林×脱炭素チャレンジ2023」において、カーボンニュートラルの実現に貢献する企業として認められ、グリーンパートナー2023となりました。



■環境省の低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fan to Share」に参加

- クールビズ、ウォームビズを実施しています。
- 大量の廃棄文書を、裁断処理場に持込み、紙製品へリサイクルしています。(徳島支所)

■「太陽光発電システム」の導入によるCO₂削減を実施

- 本支所すべての社屋屋上に太陽光発電システムを設置しCO₂削減に取り組んでいます。